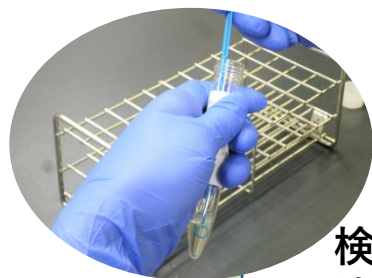


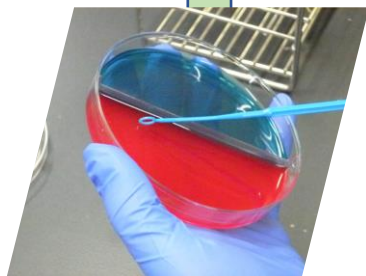
培養・同定・薬剤感受性検査



検体を適切な培地に塗布し、白金耳を用いて塗り広げます

同定・薬剤感受性結果

（この結果をもとに治療に使う抗菌薬を選びます）



ふ卵器に入れて培養します

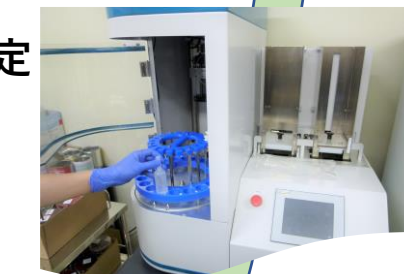


調製菌液を専用装置で判定用プレートに分注します

〈翌日〉感染症の原因と思われる菌（コロニー）を穿刺し、菌液を調製します

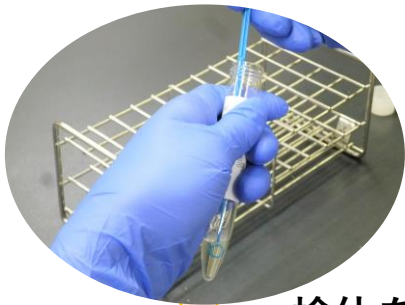


細菌同定装置にプレートを設定します

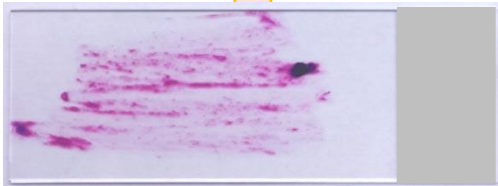


グラム染色検査

細菌の培養・同定は時間がかかりますので、大まかな菌の分類を急ぐ場合（抗菌薬の選択等）はグラム染色をします



検体をスライドガラスに塗布し、染色液で染色して細菌を紫色や赤色に染め分けます



顕微鏡で細菌や白血球などを観察します

